

ま
い
ゆ
き

January

【新年号】

Vol.128

- 2 新年の挨拶
- 2 受賞者紹介(秋の叙勲)
- 3 今年の顔
- 4~6 支部メール(周南、小野田、下関支部)
- 7 ひたむきな保健師Vol.18
- 8~9 ナースセンターだよりNO.112

- 10 Information
- 11 医療安全情報NO.25
- 12 働き続けられる職場づくり
- 13 カンゴサウルスについて
- 13 平成27年度の入会について
- 14 職員募集

- 14 駐車場の利用について
- 14 山口県警からのお知らせ
- 15 プレナース応援事業
(看護フェア・1日看護体験)
- 16 ちよこっと自慢
- 16 表紙に寄せて・会員数・お知らせ・編集後記



まちの保健室



ときわ公園 野外彫刻



ときわ公園 じゃぶじゃぶ池

新年のご挨拶

会長 吉村 喜代子



謹んで新年の挨拶を申し上げます。

平成26年には、2025年問題である団塊の世代が後期高齢者となるいわゆる少子高齢化・多死社会の到来が大きな社会問題として取り上げられ、将来を見据えた医療提供体制が見直され、医療・介護総合保険法が成立いたしました。

このような社会情勢の中で、「人々がいつでもどこでも住み慣れた地域で、安心して生活を営むことができる」社会の実現をめざし、「地域包括ケアシステム」の構築が求められています。従来の「病院完結型」から、「在宅完結型」へ大きく変化に伴い、さらに看護の提供の場や役割が拡大して参ります。ますます他職種と協働しながら適切な医療・看護の提供に努めるチーム医療の実践と、患者さんの在宅での生活を見据えた「地域包括ケアシステム」の構築にむけた、キーパーソンとしての役割が求められて参ります。

それぞれ看護の提供の場こそ違いますが、これからも看護に求められるのは生活を基盤としたケアの提供である「予防し、治し、支える医療・看護」の提供です。少子高齢化社会の到来といいますが、看護職の能力を最大限に発揮するチャンスでもあります。5年先10年先を見据えて、今、個人として組織として看護を飛躍させるチャンスに変えていきたいと思います。そのためにも、看護の専門職者として、誇りをもって働きつづけられる職場環境をめざしていきます。

平成27年度の重点事業は 1. 看護職の確保・定着と労働環境の推進 2. 社会のニーズに対応できる看護職の育成 3. 在宅ケアの充実に向けた看護連携の推進 4. 県民の健康づくり支援の4点を掲げ、山口県看護協会としての使命の実現に努めて参りたいと思います。

この1年が皆様にとって飛躍の年となりますことを祈念し、挨拶と致します。

どうぞ本年もよろしくお願ひ申し上げます。



受賞者紹介

受賞おめでとうございます 心よりお祝い申し上げます。

平成26年度 秋の叙勲

瑞宝双光章 末岡マキ子 (元・山口労災病院看護部長)

瑞宝单光章 江川 洋子 (元・長門一ノ宮病院 看護婦長)

　　堺野 真弓 (特別養護老人ホーム「松寿苑」 看護主任)

今年の顔



日々感謝

山口県看護協会 名誉会員
福永 タマ子

自分の名前が嫌いでよく母を困らせていました。「お坊様がね。觀音ののりのさづけし御國こよ尊き今日に玉と名づける。」とつけて頂いたのだよと。

昭和29年卒で看護師の資格を取ってから病気もせず7回のひつじ年を迎える事が出来、又、今まで仕事を続けてこられた事は皆様の御支援の賜物でございます。



2015年の抱負

岩国健康福祉センター
和田 奈都美

日々のことにも埋没しがちな自分を律し、保健師としての軸を見直す年にします。専門性と自分らしさに磨きをかけたぶれない保健師を目指し、異論他論にあえて触れつつ考えてみたいと思います。ブレてきたら皆様、ツッこんでください!



『年男の節目』

長門総合病院
梅本 章吾

4回目の年男を迎え、年々、体力の衰えを感じる様になりましたが、今年も、「夢と目標」を大きく持ち、何事にもチャレンジ精神で取組みたいと思います。そして、皆様と一緒に明るく輝ける一年間にしたいと思います。



今年の抱負

山口赤十字病院
弘中 祐介

昨年は中堅看護師として、約半年間、集中ケアの研修へ行かせていただきました。研修では課題も多く大変でしたが、とてもよい経験ができました。研修へ行かせて下さった病院、同僚、家族への感謝を忘れずに、研修での学びを自分の看護、後輩の指導などに活かしていきたいと思います。



今年の抱負

宇部興産中央病院
藤川 航

これまでの3年間、働き続けることができたのは、先輩看護師や患者さん、多くの人々に支えられてきたからだと実感しています。

日々のケアやリハビリを通し、活動範囲が拡大していく患者さんと関わることで、喜びややりがいを感じています。これからも笑顔を絶やさず、患者さんの心の支えとなれるよう日々努力し、成長していきます。



2015年の抱負

徳山中央病院
末岡 沙知子

入職したばかりの頃は、慣れない業務に戸惑い、悩む事もありましたが、周囲の方々に支えられ、日々多くのことを学ばせてもらっています。

今年も人との「縁」を大切に、前進できるよう頑張りたいと思います。



新年を迎えて

下関市立豊浦病院
山村 真里子

早いもので5回目の年女を迎えます。

神経科、神経内科の外来に勤務して約20年になります。今では診察室を訪れる患者さんや家族の方と心を通わせることができ、看護をする喜びを感じています。今が在るのは支えてくれた方々のお蔭です。今年は自分の体験をしっかりと伝え、後に繋いでいく一年にしたいと思います。



「楽しく働き続けられる職場づくり」の 管理者交流会を終えて

周南支部

平成26年10月18日(土)に、山口県看護協会前会長の兼安久恵先生をお招きし、管理者交流会を開催しました。

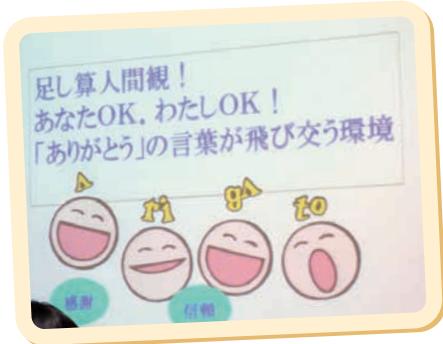
周南支部15施設の看護部長・副部長・師長を対象とし、52人の参加がありました。

兼安先生に講演内容を「働き続けられる職場づくり」で依頼したところ、「楽しく働き続けられる職場づくり」をいうテーマをいただきました。この「楽しく」という言葉が心にとても響きました。

講演を受けて、「職場のリーダー自身が輝いているか、リーダーが輝いていないとその職場で進行中のストーリーが台無しになるかもしれない」という先生の言葉が心に残りました。稻盛和夫氏の人生の方程式は「人生・仕事の結果=考え方×熱意×能力」です。この「考え方」がプラス思考であれば良いが、マイナス思考であれば、この方程式はいくら掛けてもマイナス(-)となり、「熱意」が0であればいくら掛けても0になります。スタッフはリーダーの背中を見ながら働いています。そのリーダーが輝き、良い舞台を創りあげていくことが大切になります。

まずは「考え方」において、自分を卑下する言葉はマイナス(-)になるので、プラス(+)にかかるような魔法の口癖を持つことが大事です。魔法の口癖である「ありがとう」「おかげさま」「助かった」「とても楽しかった」「あなたに会えてよかった」などの口癖を習慣づけているとプラス思考になれると学びました。また「あそこが駄目」「ここが駄目」ではなく、自分も他人もありのままを受け止めて誉め、長所からみていくようにしていきたいと思いました。私も自分自身を誉め、こころを動かすような本を読み、こころ磨きをしながら「熱意」を持続させていきたいと思います。

兼安先生の講演のあと、施設間での交流を図りました。コーヒーを飲みながら、先生の講演内容について話がはずみ、楽しい交流会となりました。



小野田支部紹介と平成26年度活動報告

小野田支部

7月26日支部集会がありました。小野田赤十字病院において、出席者26名、委任状439名、支部会員の皆様にご協力いただき、無事終了できました。ありがとうございました。小野田支部は山陽小野田市と美祢市との会員数594名の支部です。今後2年間は事務局を美祢市立美東病院においています。

7月26日支部集会に続いて教育講演会がありました。「救急看護の基礎知識」で救急看護の認定看護師である中野智子先生による講演でした。参加者は57名で、内容は①救急蘇生ガイドラインの改定について②1次救命が大切である。質の高い胸骨圧迫が必要であり、100回/分で5cm圧迫した方がいい。そのためにも救急蘇生法は定期的訓練が必要である。③いつもと何か違うという観察力が必要である。と、とても分かりやすい内容でした。

10月19日美祢市において「福祉の市」がありました。毎年支部の地域の活動のひとつとして、美祢市の「福祉の市」に看護協会員が参加しています。地元の美祢市立病院から11名の会員が参加しました。晴天に恵まれ多くの人で賑わいました。美祢市立病院の看護師が測定サービスと健康相談をしました。血圧測定は126名、骨密度110名、血管年齢139名、体脂肪104名の希望がありました。多くの方が健康に関心を持たれています。

地域での活動である美祢地域医療推進協議会の紹介をします。平成22年に美祢市が地域医療を守り育てるため、地域医療の推進と医療・保健・福祉の連携を目的として設置した、美祢市地域医療推進協議会に看護協会小野田支部から看護職の代表として出席しています。地域住民・医療・福祉の分野の委員15名が年3回程度の会議を行っています。平成24年4月から施行の美祢市の地域医療を支え育てる基本計画・アクションプランを策定しました。その中で「地域医療の担い手を確保し、良好な勤務環境の整備に努める」とあります。委員に看護職の実態と厳しい人材確保など理解、支援していただく機会になっています。

(清水 政江)



平成26年度 支部活動について

下関支部

下関支部では、7月14日に平成26年度の下関支部集会を行いました。出席者215名、委任状990名で、支部会員の皆様にご協力頂き、無事、支部集会を終了することが出来ました。皆様にお礼申し上げます。支部長以下半数の役員が交代しましたが、地域住民の皆様のニーズに応えるために、会員の皆様のご支援の基、支部活動を推進して参りたいと思います。宜しくお願ひ致します。

下関支部では、会員の皆様のご支援の基、下関シーモールとゆめシティの2会場で「まちの保健室」を年10回開催しており、毎年たくさんの市民の方々の来場を頂いております。

今年度も10月まで5回「まちの保健室」を開催しましたが、延べ538名の市民の方々の来場がありました。「まちの保健室」開催時には、毎回20名程度の市民の方から健康についての相談もあり、親身な対応を心掛けています。今後も地域に貢献できる活動が行えるよう支部活動を行っていきたいと思います。

今年度の「看護の日・国際助産の日合同イベント」には、下関市保健部キャラクター「こころん」にイベントに参加して頂き、小さな子供たちは大喜びでとても盛り上りました。今後も小さな子供たちも楽しく参加できるイベントを考えていきたいと思います。



5月10日(土)10時～16時シーモール下関にて、「看護の日・国際助産の日合同イベント」を開催しました。212名の市民の方の来場がありました。

また、支部活動として、教育セミナー、職能研修会を開催しました。平成26年10月30日(木)に、第1回教育セミナーを下関市生涯学習プラザで開催しました。今回のテーマは、「明日からできる食事介助・口腔ケア 基礎編」で、下関市立市民病院 摂食・嚥下認定看護師 高橋理恵先生に講師をお願いしました。食事介助・口腔ケアについて、摂食・嚥下認定看護師より学び、日々の看護援助に活かしていきたいと思います。

様々な社会変化の中で活動に迷いを持つ保健師が増えている昨今、保健師職能委員会では、地道に保健活動を実践している保健師にスポットライトをあて、保健師から保健師へと技や心が伝えられ受け継がれるネットワークづくりに取り組んでいます。

その一環として、県内でひたむきに頑張っている保健師さんを紹介し応援します。



(前列向かって左が松原保健師です)

働く人たちの応援役! ～伴走者として定年まで支援する～

武田薬品工業(株) 光事務所健康管理保健師 松原 千恵子さん

会社紹介

武田薬品工業(株)光工場は、四季折々の変化を見せる美しい海と山に囲まれた場所にあり、終戦直後の昭和21年に開設。

従業員の仕事の内容や勤務体系も様々です。健康課題の変化に合わせながら、従業員の健康管理に日々取り組んでいます。また、グローバル化を感じる今日この頃です。(スタッフ:[常勤] 医師1名、保健師3名、事務3名[非常勤] 精神科含む医師4名、看護師1名、放射線技師1名、臨床心理士1名) 従業員数 約870名

✿ 組織を知り、人を知り、職場を知る

武田薬品工業(株)光工場に、初めて保健師として採用されてから20年以上が経ちます。入社した当時は、自分の顔を知ってもらうために、「ミニ健康教室」と称してどんどん現場へ出向きました。また、自分を知つてもらうだけでなく働く人たちの健康支援を行う専門職として、労働者をとりまく職場環境を知ることはとても重要です。現在も産業医とともに「教えていただく」姿勢で定期的に現場へ出向くとともに、あらゆる場面で工場に働く皆さんとのかかわりを大事にしています。

✿ 信頼がキーワード

入社当初は、「保健師として何かしなければ!」という思いばかりが強く、からまわりしていたかもしれません。しかし、職種はそれぞれ違っても健康管理スタッフ全員が“働く人たちの応援役”であることに気付き、それ以来、健康管理チームとしての自分の役割を果たすことを考えるようになりました。何よりも先輩スタッフがこれまで築いてくださった“信頼”に心から感謝しています。スタッフ間の信頼、組織の信頼、工場に働く皆さんの信頼を得られるよう常に心がけたいと思っています。

✿ 出会いから刺激をうけて

これまで総合的健康管理の推進としてメンタルヘルス対策、生活習慣病対策、過重労働対策、職場環境改善、感染症対策などスタッフ全員で様々な取組みをおこなってきました。また、“一社員”としても多くを学び経験させていただきました。社外においても多くの方と出会い刺激をうけ、目標にしたり取組みを真似たりしながら現在に至っていると思います。とにかく社内外にアンテナを高くして、真似できることはどんどん真似します。私の周りにはなんて素敵なお友達が多いのでしょうか!近づけるようにこれからも頑張ります!

✿ 産業保健師のやりがい

入社から退職まで、産業保健師は従業員の職業生活の伴走者として支援できる存在です。多くの方が退職の際に挨拶に来られ、お互いに涙ぐんでしまうことも。工場で働くすべての方が“家族”的に思えるのです。

✿ 私からのメッセージ

「これは保健師の仕事?」と疑問に感じる事もあると思いますが、どんな仕事も無駄じゃないと感じています。あまり気負わず、自分にできることをやっていけば良いのではないかでしょうか? “すべての場面が学びの場”だという姿勢で仕事に臨んでみてください!

職場の仲間からひとこと

【保健師から】

一緒に働いて5~6年になります。とても包容力のある方なので、誰でもどんなことでも受け止めてくれます。松原さんは私が目標としている人です。

【産業医から】

仕事を的確にこなすところや、周囲のことを瞬時に察知する洞察力や気配りは素晴らしいです。コミュニケーション能力も非常に高いので、社内の人付き合いやネットワークもすごいです。一日に何度も「すごいなあ」と感心させられます。

インタビューを終えて (インタビュアーの感想)

松原さんの優しい笑顔とメッセージにとても前向きな気持ちになりました。産業保健で活躍されている松原さんとの出会いは、とても刺激になりました。

担当は、山本(周南支部保健師職能委員)倉田(保健師職能委員)でした。

やまぐち ナースセンターだより

No.112

■再就職を目指す方へ

地域の病院で再チャレンジ研修開催中

平成26年度【Ⅲ期】再チャレンジ研修を受講してきました



子育てが一段落していざ働くと思った時には、既に10年のブランクがあり、いきなり現場に出て働くこととても不安を感じていました。小郡第一総合病院で5日間の研修をして、働いていた時の感覚や雰囲気を思い出すことができたと同時に、もっと勉強をして専門分野を突き詰めていきたいという新たな目標を持つこともできました。

初心にかえったつもりで、看護の仕事をしながら色々なことを吸収していきたいです。この度思いきって参加してみて本当に良かったと思います。

吉岡 美希

平成27年度再チャレンジ研修

【Ⅰ期】受講者募集

地域の協力病院で5日間程度の研修を行います。子育て期間中でそろそろ復帰を考えている方、もう一度看護職へチャレンジされる方の受講をお待ちしております。

- 対象者 未就業看護職
- 研修期間 平成27年4月～6月
コーディネーターが日程を調整します
- 募集期間 平成27年1月13日～3月20日
- 申し込み先 山口県ナースセンター
山口県看護協会ホームページをご参照ください。



■有料職業紹介事業所の利用について《ご注意》

●病院・クリニックなど医療機関や福祉施設の皆様へ

ここ数年、医師・看護師などの医療従事者の採用に当たって、民間の有料職業紹介事業者（人材紹介会社）を利用した医療機関が対応に苦慮する事例が生じています。このような問題を未然に防ぐために、事業者を選ぶとき、利用するときに注意することがあります。これらのチェックポイントをまとめた厚生労働省のホームページをご覧ください。

【相談窓口】

山口労働局 需給調整事業室 電話 083-995-0385

●看護職の皆様へ

「山口県ナースセンター」や「eナースセンター」などインターネットで検索すると、有料職業紹介のホームページが上位に表示されています。誤って有料職業紹介事業者へ登録することがありますので、山口県ナースセンターは「山口県看護協会」ホームページのトップ画面にある「eナースセンター」からご利用ください。



■求人・求職のご相談は

山口県ナースセンター（無料職業紹介）をご利用ください。

受付 火・水・金曜日（月曜日は閉館）

電話 0835-24-5791 FAX 0835-24-1230

費用 無料

メール yamaguchi@nurse-center.net

ナースセンターへの届け出が制度化へ

「看護師等人材確保の促進に関する法律」が改正され、2015年（平成27年）10月から、離職時のナースセンターへの届け出制度（努力義務）が全国で始まります。離職した看護職は、まず、ナースセンターへ届け出をしましょう。

山口県ナースセンターへ届け出をされた方には、山口県の看護職員確保・定着を促進するために準備された多くの事業を利用いただきながら、離職から次の再就職までを全面サポートしていきます。

詳細は、山口県ナースセンター（電話0835-24-5791）へお問合せ下さい。

■ 看護師等人材確保促進法改正のポイント

（ナースセンターの業務拡充）

- 現行の無料職業紹介事業に加え、「離職後、求職者になる前」の段階から支援ができるようナースセンター業務規定を改正

- 離職後、復職するか否かを迷っている看護師等に対して、適切なタイミングで効果的なアプローチが可能になる。

（ナースセンターの情報把握強化）

- ナースセンターが効果的な支援を行えるよう看護師等に対して、離職した場合等にナースセンターへの住所、氏名、連絡先その他の情報等の「届出の努力義務」を規定。
- ナースセンターが官公署に対し情報提供を求めることができる旨の規定を整備。
- 併せて、ナースセンター役職員等について、守秘義務規定を整備。

- ナースセンターが、離職している看護師等の情報を効果的に把握することにより、離職した看護師等の潜在化を予防し、効果的な復職支援につなげることが可能になる。
- 「届出」事務を合理的に実施するため、中央ナースセンターシステムを活用し、看護師等が自らインターネット経由で登録する方法等を検討。

（支援体制の強化）

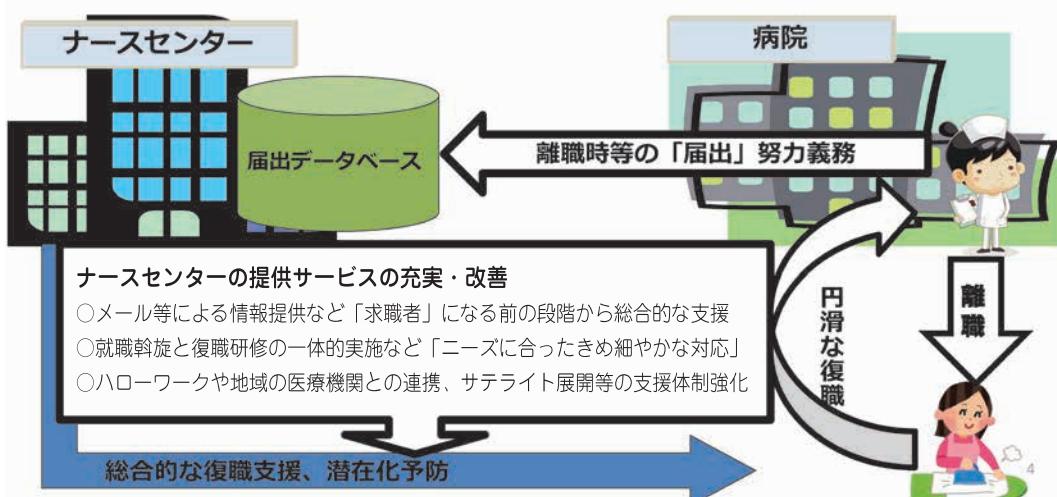
- より身近な地域でナースセンターによる支援が受けられるよう、ナースセンターの業務を地域の医療機関等に委託することができる旨の規定を整備。
- 関係機関との連携規定を整備。

- サテライト展開等が可能になり、利用者にとって、より身近な地域で相談等のサービスが受けられるようになる。
- 財源として「新たな財政支援基金」の活用も可能。
- 地域の関係者との連携体制を強化。

■ 看護師等の復職支援強化 看護師等人材確保促進法改正イメージ※平成27年10月1日施行

- 都道府県ナースセンターが中心となって、看護職員の復職支援の強化を図るため

- ・看護師等免許保持者について一定の情報の届出制度を創設し、離職者の把握を徹底。
- ・ナースセンターが、離職後も一定の「つながり」を確保し、求職者になる前の段階から効果的・総合的な支援を実施できるようナースセンターの業務を充実・改善。
- ・支援体制を強化するための委託制度やその前提となる守秘義務規定等関連規定を整備。



出展：厚生労働省「第11回看護職員需給見通しに関する検討会資料3-2」

Information



支 部

支部名	月日（曜日）	時 間	場 所	行事（1月～3月） ※行事名、日時、場所等
岩 国	1月15日（木）	19：00～20：30	岩国医療センター 医師会病院	コメディカル研修との 共催研修「接遇」
	2月14日（土）	9：30～15：00	ゆめタウン南岩国店	まちの保健室
	2月 7日（土）	13：30～16：00	岩国医療センター内 研修センター	圏域看護研究発表会
	3月	未定	同上	圏域管理者研修
柳 井	1月17日（土）	10：00～12：00	ゆめタウン柳井	まちの保健室
	2月 7日（土）	13：00～16：00	周東総合病院	看護研究発表会 講評：未定
	2月21日（土）	10：00～12：00	ゆめタウン柳井	まちの保健室
	3月21日（土）	10：00～12：00	ゆめタウン柳井	まちの保健室
周 南	1月31日（土）	13：30～16：00	徳山中央病院本館 11階大会議室	看護研究発表会 講評：山口大学大学院医学系研究科 田中満由美先生
	2月 8日（日）	10：00～15：00	サンリブ下松	まちの保健室
	3月 8日（日）	10：00～15：00	ゆめタウン新南陽	まちの保健室
防 府	1月18日（日）	10：00～15：00	ゆめタウン防府	まちの保健室
	2月15日（日）	10：00～15：00	ゆめタウン防府	まちの保健室
	2月28日（土）	13：30～15：30	山口県立総合医療 センター大会議室	看護研究指導研修 山口大学医学系研究科 守田孝江先生
宇 部	1月17日（土）	11：00～15：00	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	2月 7日（土）	13：30～16：00	山口大学医学部 講義棟A 第2講義室	宇部支部看護研究発表会
	2月21日（土）	11：00～15：00	ゆめタウン宇部	まちの保健室
	3月21日（土）	11：00～15：00	ゆめタウン宇部	まちの保健室
小野田	1月18日（日）	10：00～14：30	おのだサンパーク	まちの保健室
	2月14日（土）	9：00～12：00	山口労災病院	小野田支部看護研究発表会 講評：山口大学大学院医学系研究科 田戸朝美先生
	2月15日（日）	10：00～15：00	道の駅おふく	まちの保健室
豊 浦	3月15日（日）	10：00～14：30	おのだサンパーク	まちの保健室
	1月17日（土）	10：30～14：00	道の駅螢街道西ノ市	シンポジウム及び交流会
	1月24日（土）	10：00～12：00	マーレとようら	まちの保健室
	2月21日（土）	9：30～12：00	下関市立豊浦病院	看護研究発表 講評、講演：西南女学院大学福祉学部看護科 教授 飯野英親先生
下 関	2月28日（土）	10：00～12：00	道の駅螢街道西ノ市	まちの保健室
	1月22日（木）	18：30～20：00	下関市生涯学習プラザ 宙のホール (他目的ホール)	褥瘡予防、ケア、評価（基礎編） 山口県済生会下関総合病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 杉村 千尋 先生

医療安全情報

(医療安全推進委員会から)

《No. 25》

与薬を安全に行おう!

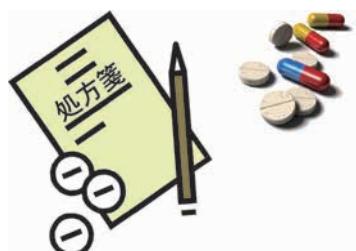
誤薬防止の「6つのR」

- ①正しい患者 Right Patient
- ②正しい薬剤 Right Drug
- ③正しい目的 Right Purpose
- ④正しい用量 Right Dose
- ⑤正しい用法 Right Route
- ⑥正しい時間 Right Time

誤薬は非常に多く発生しています。間違えないように、しっかり確認しましょう!



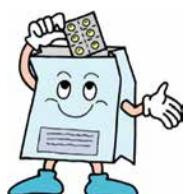
処方箋と薬を見ながら、
患者名・薬剤名・用量・用法・時間を確認します。



確認は、
2人でダブルチェックがいいですね！
(ダブルチェックの方法は、きらめき121号参照)



正しい目的を理解するために、
患者さんの疾患・病態を理解する事、
薬の効能・効果・副作用等を知ることが必要です。
また、
患者さんが、自分の薬の事を知って、
正しく内服できるように指導することも大切です。



お薬手帳

を確認しましょう



働き続けられる職場づくり

アドバイザー派遣事業に参加している病院の看護職及び指導にあたっているアドバイザー（認定看護管理者）14名が9月29日（月）に下関医療センターを訪問し、看護部を中心に全職員一丸となって実施されている職場改善の現場を見学させていただきました。

★アドバイザー

◆病院看護職

★光市立大和総合病院 副看護部長 伊藤 友里代

働きやすい職場作りには職員の思いやニーズをどれだけ汲み取る事ができるかが鍵となること、また役割を与えその成果を上司や仲間が認める事の大切さを再認識する機会となりました。具体的な方法論や取り組み事例を参考に職場環境の改善に役立てたいと思います。

★緑町三祐病院 総看護師長 山時 久美子

目標面接・「ふくふくカード」など、管理者が職員と向き合う時間を大切にした取り組みを見習いたいと思いました。ウェルカムボードでの出迎えから最後まで管理者の皆様の「おもてなし」の心に感動しました。

★小郡第一総合病院 看護部長 折込 沙世

「スタッフの声は管理のありようを映す鏡」という言葉通り、看護管理者がスタッフと向き合いながら職場改善に取り組まれている実際を学ぶ機会となりました。学び得た方策をヒントに、自施設での取り組みに繋げていきたいと思います。

★宇部西リハビリテーション病院

看護部長 長谷川 京子

「現場改善アンケート」「勤務意向調査」「職員満足度調査」を実施し、職場の問題を抽出していました。看護部長が273名の看護師全員と面接をされるという「看護部長面談」に驚かされ、部長の熱意が伝ってきました。

★山口県済生会下関総合病院 看護師長 片山 由美子

夜勤専従者やリリーフ体制の導入、復職者全員が3回/月の夜勤を行う協力体制など参考になった。職員の要望や意向が反映され、お互いにwin-winの関係であることが働き続けられる職場づくりの秘訣だと感じた。



あたたかい雰囲気です。部長さんから看護部の取り組みについて説明を受け、より一層コミュニケーションの重要性を感じました。ありがとうございました。

◆鹿野博愛病院 病棟看護師長 菅野 千里

病院全体が職場をより良くする為に掲示物の工夫や、満足度調査をしておられる。そしてそれを使用してスタッフ間のコミュニケーションができるいると感じた。自分の職場は自分たちでより良くするという意識を感じた。

◆防府消化器病センター防府胃腸病院 看護部長 木村 由紀枝

声を聴く、見える化、コミュニケーション促進、TQM活動他、人を大切にされ、看護職員を元気づけ、多くの取り組みが全て働きがいのある職場づくりに繋がっていました。まず、1つ取り組んでみます。

◆宇部協立病院 副総看護師長 飯田 洋子

職員の声を大切に、フィッシュなどを取り入れ楽しく職場改善、職場づくりに取り組まれておられた。職員のモチベーションを高めながら、科学的に分析もされ根拠をもとに進められていることがよく理解できた。

◆宇部協立病院 病棟師長 瓜生 恭子

職員1人1人の声を受け止めたうえで、「自分たちは何をすべきか」という道しるべを示すことで共通認識となり、モチベーションもあがっているのだなと感じました。看護師長集団のネットワークの強さや看護部全体で助け合う風土を感じました。

◆岩国病院 看護部長 北野 和江

職員自身が働きやすい職場作りのために、人任せではなく、自分たちの手で作り上げるための工夫をする事が出来、そして職員一人ひとりのモチベーションをあげていけるように考えていました。ありがとうございました。

◆岩国病院 外来主任 長谷 明子

多忙な毎日の中で看護師のモチベーションを上げるようにポイント制にしたり、ふくふくカードを作ったり、面談したりとたくさんの工夫や努力をされているのにとても感動しました。私もますできることから取り組んで、みんなが働きやすいと思える職場にしたいです。

◆周防大島町立東和病院

総看護師長 神田 里枝子

下関医療センターを視察させて頂きました。まずは現場の声を聞くことの工夫や仕掛けがあり、ぜひ取り入れたいと思いました。中間管理職のモチベーションが、職場のモチベーションを決めると言われ、中間管理職が元気で働くような支援をしていこうと思います。



何より心に残ったのが、「変わらないでいる事は、後退しているのと同じこと」という言葉です。変化には、膨大なエネルギーを要しますが、小さな変化を積み重ねていきたいと思います。

◆周防大島町立東和病院 副看護師長 金井 良浩

この度の病院視察に参加し、多くのことをまなびました。多様な働き方の支援、職場改善アンケート、職場文化の改善など、病院全体で看護職を支えていく必要があることが理解できました。有難うございました。

◆鹿野博愛病院 看護部長 山田 邦子

下関医療センターを訪問して、まず感じたことは、病院全体の重要性を感じました。ありがとうございました。

◆鹿野博愛病院 病棟看護師長 菅野 千里

病院全体が職場をより良くする為に掲示物の工夫や、満足度調査をしておられる。そしてそれを使用してスタッフ間のコミュニケーションができると感じた。自分の職場は自分たちでより良くするという意識を感じた。

◆防府消化器病センター防府胃腸病院 看護部長 木村 由紀枝

声を聴く、見える化、コミュニケーション促進、TQM活動他、人を大切にされ、看護職員を元気づけ、多くの取り組みが全て働きがいのある職場づくりに繋がっていました。まず、1つ取り組んでみます。

カンゴサウルスについて



山口県の看護職の確保対策を図るため、「看護職のワーク・ライフ・バランス」のシンボルキャラクターの「カンゴサウルス」の着ぐるみを日本看護協会から貸出していただきました。

平成26年11月1日（土）徳山看護専門学校に派遣し、学校祭（徳風祭）の中でPR活動をしてもらいました。

当日は、看護職を目指している高校生をはじめ、地域からの参加者等500名程度が来場され、大変にぎわいました。



平成27年度の入会について



本会では、教育と研鑽による専門性に基づいた看護の質の向上をはかり、看護職が誇りを持ち安心して働き続けられる環境づくりを推進し、地域の人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図っております。

山口県看護協会事業を発展させるためには皆様方がひとりでも多く会員になってくださることが必要です。

社会のニーズに応えられる看護をめざすために会員として入会しましょう!!!

現在、平成27年度の入会受付をしております。手続きは、なるべく早くお願ひいたします。

会費は 一人 15,000円(日本看護協会会費を含む)です。詳細については、右記のとおりとなります。

1 新入会員 はじめて入会する方

→ 年会費 + 入会金
15,000円+30,000円=45,000円

2 継続会員 平成26年度入会していた方

増築拠出金 または入会金を 完 納	はい → 年会費 のみ 15,000円
	いいえ → 年会費 + 入会金 15,000円+30,000円=45,000円

3 再加入会員 (山口県内) 以前入会していた方

増築拠出金 または入会金を 完 納	はい → 年会費 のみ 15,000円
	いいえ → 年会費 + 入会金 15,000円+30,000円=45,000円

4 他県から加入会員 (山口県にはじめて入会する)

→ 年会費 + 入会金
15,000円+30,000円=45,000円

5 他県から加入会員 (山口県に以前入会していたことがある)

以前増築拠出金 または入会金を 完 納	はい → 年会費 のみ 15,000円
	いいえ → 年会費 + 入会金 15,000円+30,000円=45,000円

【その他】

- ・増築拠出金対象の方は、入会金相当額の30,000円の納入をお願いします。
- ・30,000円に達していない方は、残金の納入をお願いします。
- ・他県にて平成27年度の入会手続きをされた方はお問合せください。
- ・他県から加入会員は入会金を減額できる場合がありますので、ご相談ください。



担当：総務課・早川

TEL 0835-24-5790/FAX 0835-24-1230 e-mail : hayakawa@y-kango.or.jp

公益社団法人山口県看護協会

職員募集

募集人数

看護職 若干名

資格・条件

- ・当会の理念を理解し、発展に寄与できる方
- ・医療機関、行政、学校等で看護職としての勤務経験があること
- ・エクセル、ワードの基本的なパソコン操作ができること

勤務期間

平成27年4月1日～平成28年3月31日(更新あり)

勤務時間

火曜日～土曜日 8時30分～17時

待遇

当会の規定による 委細面談
交通費実費支給

応募期間

平成27年1月6日(火)～平成27年1月31日(土)

選考方法

書類審査及び面接

問合せ先

〒747-0062 防府市大字上右田2686番地
☎0835-24-5790 専務理事 深町

駐車場の利用について(お願い)



当会駐車場は台数が限られており、事業、研修内容等で利用時間が異なっているため、開催日等によっては駐車場の手配が困難となっております。受講生が多数の場合は、終了時まで駐車場から出ることはできませんので、あらかじめご了承ください。

会員の皆様にもご迷惑をおかけしておりますが、同じ施設等で乗合せてご来館いただく等、ご協力のほどよろしくお願いします。

山口県警察本部よりお知らせ

高齢者安全安心ネットワーク

山口県内で息子をかたる不審電話が連続発生!



山口県内で息子をかたる不審電話が連続発生しています。

事案概要については、次のとおりです。

事案概要

12月8日午後11時15分ころ、山口市居住のAさん（60歳代、男性）方に、息子をかたる男から、風邪をひいて声がおかしい。

首にしこりができるから、病院へ行こうと思う。

携帯電話が壊れたので、次からこの電話番号にかけて。

明日、また電話する。

といった電話がありました。

Aさんは、息子だと信じ、「明日の朝はいないけど、昼から夕方までは家にいる」と答えました。

その後、本当の息子に確認したところ、電話をかけた事実はなく、オレオレ詐欺の不審電話と判明しました。

同種の不審電話が県内各地で連続発生しています。

☆ 親族をかたって、「風邪をひいた」「電話番号が変わった」は詐欺を疑いましょう。

☆ 従来から知っている息子等の電話番号にかけて確認しましょう。

☆ 不審な電話があればすぐに警察に通報（相談）してください。



みんなでつくろう安心やまぐち
～子供・女性・高齢者を守ろう～

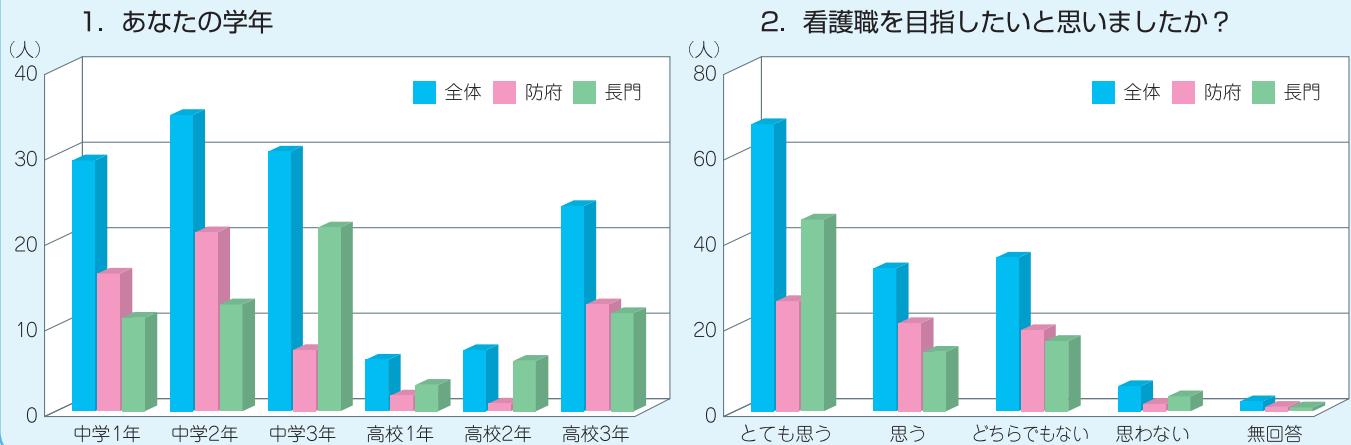
平成26年度山口県委託 プレナース応援事業（看護フェア・1日看護体験）

下記の各事業に参加した後に「看護職をめざしたい」と思った中学生・高校生は、「看護フェア」72.5%、「1日看護体験」93.7%でした。これらの事業を拡充・継続し、看護職の確保を促進していくことが重要です。アンケート結果の詳細は、山口県看護協会のホームページをご参照ください。

平成26年度 看護フェア

防府会場及び長門会場で8月に開催した看護フェアの参加者は246人で、その内、中学生が101人、高校生が42人でした。
中学生・高校生のアンケート回収数は138人、回収率は96.5%でした。

中学生・高校生アンケート結果



平成26年度 1日看護体験

夏休み期間中に県内28の協力病院で中学生219人、高校生277人、合計496人が「1日看護体験」に参加しました。
アンケートの回収数は493人、回収率99.4%でした。

協力病院別参加者数

(人)

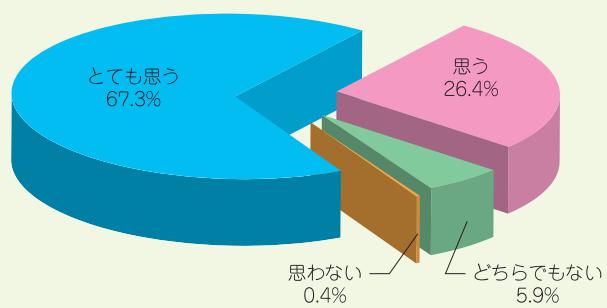
国立病院機構岩国医療センター	39	徳山リハビリテーション病院	3	宇部西リハビリテーション病院	10	萩市民病院	15
岩国市医療センター医師会病院	58	山口県立総合医療センター	7	宇部協立病院	2	全真会病院	5
周東総合病院	11	山口赤十字病院	14	山口労災病院	37	都志見病院	5
周防大島町立大島病院	9	済生会山口総合病院	59	山陽小野田市民病院	9	下関市立豊田中央病院	9
周防大島町立橘病院	3	国立病院機構山口宇部医療センター	20	美祢市立美東病院	2	済生会下関総合病院	33
周防大島町立東和病院	6	宇部リハビリテーション病院	7	長門総合病院	13	地域医療機構下関医療センター	20
光市立大和総合病院	23	宇部記念病院	20	岡田病院	6	昭和病院	51

中学生・高校生アンケート結果

1. あなたの学年

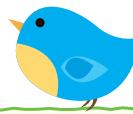


2. 看護体験を終えて看護師になりたいと思いましたか？





山口県看護協会 災害支援委員会の ちょこっと自慢です。



「災害支援体制の構築」

近年日本各地で毎年のように災害が発生し、看護職による被災地支援への需要が高まっています。よって山口県看護協会では、県内外の災害発生時に適切かつ迅速に対応できるよう、災害支援体制の構築を進めています。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災時、多くの看護職が東北への災害支援に参加しました。そして私たちがこの支援から学んだことは、平常時から備える知識と技術が必要であり、支援したいという気持ちだけでは効果的な支援が難しいということでした。

そこで、実際に被災地で活動した看護師達が中心となり、災害支援委員会（保健師、看護師、助産師の計7名）を構成し、災害支援活動要綱を整備するとともに、有事の際に迅速で効果的な活動が展開できる「災害支援ナース」の育成に取り組んでいます。

現在、山口県での「災害支援ナース」の登録は約350名です。他県に比べると多い人数を維持しています。しかし災害は予期せず起こるものであり、実際は勤務形態や家庭の事情により、有时に活動できる看護職は多くありません。

災害看護に関心がある、また災害支援をやりたいとお考えの看護職の方は、ぜひ研修へご参加下さい。そして被災者の方々のため共に活動できる仲間となって頂くことを、心よりお待ちしています。



山口県看護協会報
やまぐちナースセンターより

Vol.128
平成27年1月1日

- 発行 公益社団法人 山口県看護協会
防府市大字上右田2886 TEL0835-245790
- 発行責任者 吉村喜代子
- 印刷 コロニー印刷

表紙に寄せて

“緑と花と彫刻のまち”の宇部市です。写真のときわ公園は「日本の都市公園100選」や「さくら名所100選」に選ばれるほど自然と芸術が調和した美しい景観が広がり、人々に潤いとやすらぎを与えてくれています。また現代日本彫刻展の歴代入賞作品が公園内や市街地などにも設置され、宇部市のシンボルとなっています。

まちの保健室活動では毎月第3土曜日にゆめタウン宇部にて買い物に来られた方の血圧・体脂肪測定や健康相談、また2ヶ月毎ですが助産師による育児・妊娠婦相談も行っています。今後も専門性を活かし、地域の皆さまとのふれあいを大切にした支部活動に取り組んでいきたいと思います。

平成26年度 山口県看護協会会員数

2014年12月6日現在

合計 9,923名

(加入率：42.9%)

保健師
435人

助産師
324人

看護師
8,382人

准看護師
782人

<http://www.y-kango.or.jp/>

お知らせ

明けましておめでとうございます。平成27年度の入会がはじまりました。ご入会お待ちしております。
会報についてご意見等（掲載を希望される記事等）がございましたらご連絡ください。

TEL (0835) 24-5790 FAX (0835) 24-1230 E-mail : hayakawa@y-kango.or.jp

(担当 総務課 早川)

編集後記

新しい新年がはじまりました。
きらめきもさらによりよい会報を目指します。

(村田、吉井、大井、益田)